

## 私の本棚

「琥珀—永遠のタイムカプセル」

著者/訳者	アンドリュー・ロス／著 城田安幸／訳
出版社名	文一総合出版
発行年月	2004年08月
販売価格	1,890円
ISBN	4-8299-2187-0

琥珀、とくに虫入り琥珀に興味がある人にとって、やっとめぐり合えた、目からうろこがいっぱい落ちる本です。ロンドン自然史博物館古生物学部門化石節足動物担当学芸員が書き、弘前大学の城田安幸氏によって翻訳出版されたものです。城田安幸氏は弘前大学の先生で、琥珀を発掘し琥珀の中の化石生物の研究者です。平易で明解に書かれ、用語解説や資料提供もふくめてわずか84ページの本に160点にもおよぶカラー写真が惜しげもなく掲載されています。

琥珀の一般的な解説から始まり、コーパルと琥珀の違い。大掛かりな検査装置にたよらない、にせもの琥珀の見分け方。後半は圧巻。琥珀に入っている虫の詳細な分類方法が解説されています。羽の形や胴体のくびれ、脚の形、触角の形など、豊富な図解によって判りやすく解説されています。日本人に大変親しまれている琥珀について、まさに適役の訳者による補足や追加のコラム。冗長な部分がまったくないのに中身が濃い。この本は、琥珀のことを知るために大変貴重な本です。

